

## 九州支部 第33回研究会

【テーマ】 高校生を対象とした職業統合的学習（WIL）

【日時】 2024年12月2日(月) 18:30～20:30

【会場】 久留米大学福岡サテライトキャンパス

【プログラム】

司会・進行 坂田 美和子 会員（九州インターンシップ推進協議会 事務局長）

18:30～18:40 開会挨拶・趣旨説明

副支部長 古賀 正博 会員（九州インターンシップ推進協議会 専務理事）

18:40～19:10 報告① 産学連携による探究学習の実践事例

「地元企業の課題解決に高校生が挑む共創活動『locus』の取組み」

土山 勇 氏（株式会社マイナビ 福岡支社副支社長）

19:20～19:50 報告② 高校の実践事例

「博多工業高等学校におけるインターンシップ25年の取組み」

岡本 信弘 会員（福岡市立博多工業高等学校）

19:50～20:00 ディスカサント

吉本 圭一 会員（滋慶医療科学大学教授／日本インターンシップ学

会会長）

20:00～20:20 総括討論

20:20～20:30 閉会挨拶

支部長 眞鍋 和博 会員（北九州市立大学 教授）

2024年12月2日（月）に久留米大学福岡サテライトにおいて、第33回九州支部研究会を開催しました。今回の研究会は、高校での職業統合的学習（Work Integrated Learning）に焦点を充て、2名の登壇者から実践活動の報告いただきました。

九州支部副支部長の古賀正博会員（九州インターンシップ推進協議会）の開会挨拶後、江藤智佐子会員（久留米大学）より本研究会の趣旨説明がなされました。



最初の報告は、株式会社マイナビ福岡支社副社長の土山勇氏から「地元企業の課題解決

に高校生が挑む共創活動『locus』の取組み」と題し、マイナビによる高校生向けの探究学習プログラムについて報告をいただきました。地域企業と高校生を結びつけ、地元への理解を深めることを目的に実施している『locus』のプログラム背景や実施方法、課題や効果などについて説明がなされました。

2番目の報告は、福岡市立博多工業高等学校の岡本信弘会員から「博多工業高等学校におけるインターンシップ25年の取組み」と題し、25年間続く博多工業高校でのインターンシップの実践報告をいただきました。インターンシップ導入の背景、実施方法の変遷、課題とその解決策、生徒や企業からの反応などについて紹介されました。



パネルディスカッションでは、吉本 圭一 会員（滋慶医療科学大学教授／日本インターンシップ学会会長）がディスカサントを務め、学習指導要領における位置づけや企業との連携深化の重要性について指摘がされました。その後の質疑応答では、フロアからプログラムの効果、実施上の課題、教員の反応などについて質問が出され、企業との連携や継続的な実施の難しさなどについて議論されました。

最後に、眞鍋 和博 会員（北九州市立大学 教授）が閉会挨拶で、持続可能な組織作りや社会全体での機運醸成の必要性を強調しました。今回の研究会は22名（対面14名+オンライン8名）の参加があり、パネルディスカッションではフロアから活発な質疑応答がなされ、盛会のうちに研究会を終えることができました。

（九州支部広報委員 桑畑夏生・宮崎大学）

